

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 100 V , DC 140 V	_____	_____	
	電 流	2 A	適合ケーブル	φ4.2～φ5	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的 性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	15 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的 性能	コネクタの挿抜力	_____ の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 _____ N 以上	—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 30 N 以下 (ロック機構を含む)	○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	接触抵抗：30 mΩ以下	○	—
	耐振性	周波数 10～ 55 ～ 10 Hz, 振幅 0.75mm, 5分/サイクル3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸両方向各 3 回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
環境的 性能	コネクタ破壊強度	適合コネクタをカン合させた状態で ケーブルを上下左右方向に力を加える。	30 N 以下でコネクタの破損がないこと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度 90～95 %中に 96 時間 放置する。	①絶縁抵抗：10 MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗：100 MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃→ 常温 時間 30 → 10～15 → 30 → 10 ～ 15 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗：100 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	機能を損なうような、はなはだしい 腐食がないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+380±10℃で 3 ⁺ ₀ 秒間ワグ・ホット部へ当てる。	外観の変形及びコネクタなどに著しいガタが ないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で 2～3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点のないこ と。	○	—
	耐水圧性 	適合コネクタをかん合した状態で 水深2mlに 14日間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部 にエア圧17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
1	1	DIS-C-00003130	KN. IKEHARA	HY. KOBAYASHI	20190422
備考			承認	HY. KOBAYASHI	20180226
			検 図	HY. KOBAYASHI	20180226
			担 当	DS. MATSUNE	20180224
			製 図	AI. NISHIYAMA	20180222
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-112010-31-00	
	製 品 規 格 表		製品名	HR30-6P-6P (31)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL130-0009-5-31	 1/1